

■「効果の見える治水事業」

香川県 いちのたにがわ 一の谷川（吉岡町）の治水事業 『一の谷川総合流域防災事業』

香川県西讃土木事務所長 かえ ひとみ 川江 秀樹



一の谷川は香川県西部に位置し、三豊市山本町の菩提山を源に、藤の木川、加儀田川、軍川の支流を束ね、観音寺市観音寺町において瀬戸内海に注ぐ二級河川で、その流域は、観音寺市と三豊市にまたがり、面積20.7km²を有し、同地域における社会、経済の基盤をなしております。

一の谷川では、昭和31年度より治水事業が行われ、昭和56年度までに河口から観音寺市吉岡町の県道黒洲本大線の流岡橋までの区間約4.8kmの整備を終えています。未改修の流岡橋から上流については、河道が狭小であることから大雨時には河川が氾濫し、平成2年、平成16年、平成23年の台風など、平成以降で4回の浸水被害を引き起こしています。

このため、流岡橋上流から一ノ谷池下流までの区間約2.5kmについて河川改修計画を策定し、平成25年度から国道11号までの区間約0.6kmを吉岡工区として事業を開始しており、平成27年度は、前年度に引き続き用地買収及び建物等の補償に加えて、用地買収が完了した区間の工事に着手したところです。

吉岡工区では、近年頻発する集中豪雨等による洪水被害の防止や低減に向けて、治水安全度を向上させるとともに、護岸には生態系に優しい環境ブロックを採用する等、河川環境にも配慮した整備を行い、災害に強いだけでなく、快適な郷土を目指すこととしています。

全体事業費： 約18億円

事業区間： 約0.6km（県道黒洲本大線流岡橋～国道11号）

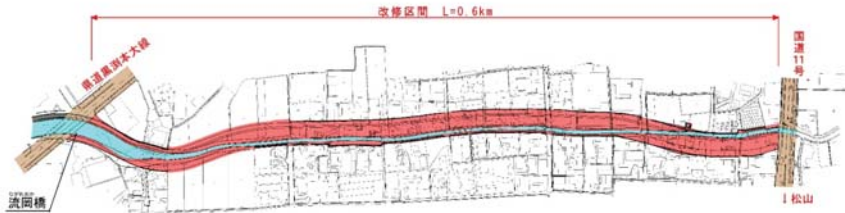
事業期間： 平成25年度～平成30年度

位置図



平成16年10月台風第23号による浸水状況

吉岡工区 平面図



「地域の防災力を高める取り組み」

観音寺市長 しらかわ せいじ 白川 晴司



「一の谷川」は、市の南東部に位置する一ノ谷池から市の北西部に位置する観音寺港へと流れる延長約7.3kmの川で、一部住宅地の中を流れる川です。

香川県に整備を進めていただいている一の谷川総合流域防災事業は、まさに周辺に住宅地が密集している区間ですが、平成16年の度重なる台風の襲来時には、反乱した水が道路上を流れ、床下浸水などの被害が発生しました。また、付近にある小学校も浸水するなどの被害を受けており、防災に対して再認識する事態となりました。

観音寺市はこれまで、大きな災害を経験しておらず、防災に対する意識が低い土地柄だったのですが、この経験をもとに、地域では防災に対する関心が非常に高まっております。

この平成16年の経験から地域内では防災に対する取り組みが数多く行われております。そのひとつとして、小学生を中心とした防災キャンプが行われました。写真は、非難所を想定した段ボールハウス造りの状況を写したのですが、キャンプのメニューの中に炊き出しを組み込み、非難所体験を実施するなどの防災訓練を組み入れております。その他にも、地区の体育祭の競技に防災訓練リレーという種目を取り入れ、土嚢づくりや簡易の担架を作るなどして、防災に対する意識を地区全体で高めております。

総合流域防災事業により川を整備していくことで、浸水による被害を防止できると、大いに期待しているところですが、地域のこうした取り組みが結束力を強くし、地域防災体制を強化できるのではないかと考えます。このような取り組みを全市に浸透させ、災害に強いまちづくりを目指していきたいと考えております。



「防災キャンプの段ボールハウス造り」



「体育祭での防災訓練リレー」